



～ 主体者として ～

先週の始業式。大切な二学期の始まりは、一年生の学年代表の言葉からスタートしました。その中の一部を抜粋します。

「…(一学期の様々な行事を通して、団結力が高まったことを受けて)…。しかし、皆が仲良くなったことで課題も出てきました。時間を守る、朝読の時間は静かにする、などです。二学期では、時間の意識や他の人に迷惑をかけないことなどを呼びかけていって、入学式で加藤先生に言われたように規律の守れる学年にしていきたいです。また、最近、心ない言葉を時々耳にするので「ありがとう」などの前向きな言葉を増やしていけるようにもしたいです。

九月から二学期が始まりました。「ありがとうを増やす」「規律を守れる学年にする」という目標を有言実行できるような、呼びかけるなど、自分から積極的に行動します。

野外活動や体育祭で学んだこと、学年目標である「ONE PIECE」を意識して、力を合わせ、最高の石中生になれるようにします。」

大変に見事な決意表明でした。そして、これは、個人の決意表明のみでなく、学年としての決意表明とも言えます。「ありがとう」を増やす。規律を守れる学年にする。ぜひとも学年の皆で達成したい目標です。皆が主体者として目指していきたいでしょう。

今週の月曜にはさっそく学年としての行事がありました。

総合の代表発表。総合の時間で石巻について調べた内容を、各クラスの代表二チームが発表しました。さすがに各クラスでの予



選を勝ち抜いてきているだけあって、どのチームも力のあるプレゼンテーションでした。発表する様子はもちろん、用意した資料からも、石巻に対する思いを皆がしっかりともっていることが伝わってきました。聞いていて、とても気持ちのいいものでした。

選ばれた二チームは、明日の文化祭で発表です。今回の発表そのままに、自信をもって堂々と発表をしてきてください。

また、文化祭では、実行委員や舞台発表など様々な場面でいろいろな人がかかわっていきます。一年生も学校の主体者です。お客さんではありません。舞台上で、また裏方での皆の活躍を期待しています。

